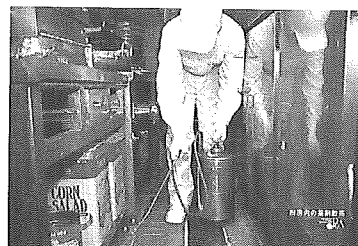


## 資料 7

### 防除器具および保護具

#### (1) 噴霧機

直径100～400 $\mu$ m程度の粒子の薬液を生息場所に散布する場合に使用する。屋内での使用には全自動噴霧器を、屋外では半自動噴霧器がよく使用されている。タンク容量は1.9～100程度で、ノズルパターンには扇型、直線型、中空円錐型がある。



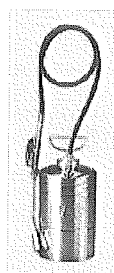
#### 全自動噴霧機

##### B&Gエクステンダーパン2ガロン

寸法：W193×H750 mm（タンク本体高450）

タンク容量7.60

メーカー希望小売価格 57,000 円

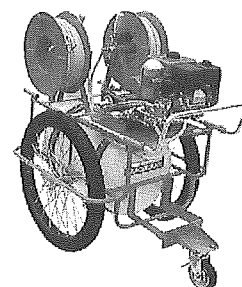


#### (2) 動力噴霧機

##### 丸山クリーンスプレーヤCSH-94

寸法1325×780×1130mm タンク、ホース巻取機、ノズルすべてをコンパクトにセットアップしてある。質量110kg、エンジン2.1kW (2.8PS)、タンク900、吸水量250/分、最高圧力3.9 Mpa (40kgf/cm<sup>2</sup>)、噴霧ホース $\phi$  8.5×30m×2本、ノズル鉄砲噴霧口×2本付き、2人同時に散布作業できる。

メーカー希望小売価格 551,000円



#### (3) ミスト機

殺虫剤、殺菌剤、消臭剤などに熱を加えないで、送風装置とノズル先端の衝突板で直径20～100 $\mu$ m程度の微細な粒子を噴射する機器である。汚水槽、雑排水槽、湧水槽などに発生するチカイエカの駆除に多く使用されている。

##### B&Gウルトラライト2400

超微粒子電動ミスト機。噴霧量は0～300ml/分と高性能。薬剤の出し入れや清掃のしやすい広口キャップ等、使いやすさを考慮したデザイン。

寸法：W220×H300×D380mmメーカー希望小売価格47,700円



#### (4) ULV 機

ULV(Ultra Low Volume)の略で、高濃度微量散布と訳す。主として大規模農園の航空散布用に開発され、直径10 $\mu$ m前後の粒子を均一に噴射することができる。日本ではピレスロイド剤の開発と相俟って、ビルや工場のゴキブリに対するフラッシング効果、飛翔性昆虫の

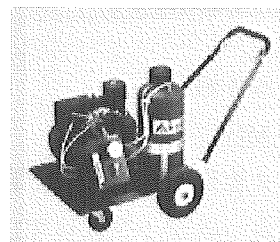
防除、施設園芸の省力化の目的で普及してきた。電動式及びガソリンエンジン式、炭酸ガスボンベ式、さらに隙間などに吹き込むことを目的に開発されたノズル式などがある。

#### マイクロジェンG-4

エンジン式手押し型ULV機。約14000立法メートルの空間処理ができる。

寸法：W508×H483×D583mm

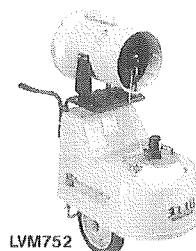
取り寄せ商品



#### 丸山フレッシュハウサーLVM752

モータ出力0.75kw ノズル吐出量40～70 ml/分

適応面積1000㎡ 標準小売価格515,000円

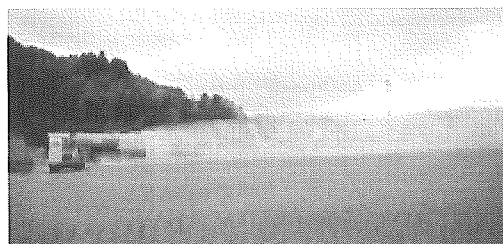


#### 丸山 VSM110-15スーパースパウタースプレー

最大到達距離 110m

噴霧角度 上10°、下-6°、水平200° 吸水量217ℓ/分

タンク1100ℓ 受注生産



### (5) 煙霧機

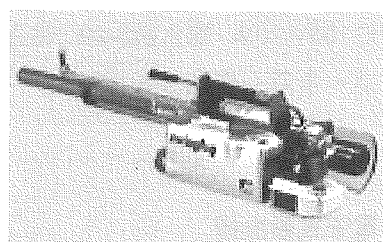
油剤に熱を加えて気化させ、殺虫剤を直径0.1～10μmの粒子にして、空間を飛翔する害虫などに直撃させる目的で使用する。パルスジェット式、電熱式、ガソリンエンジン式がある。倉庫、下水処理場、屋外などの広域の防除に使用される。建物内部では火災やシミ、汚損の恐れがあることからあまり使用されなくなっている。煙感知機が作動するので注意を要する。

#### スイングホグ SN-50

パルスジェット方式のエンジン式肩掛煙霧機。小型軽量で噴霧能力は350cc/分

寸法：W1330×H330×D310mm

メーカー希望小売価格 397,000円



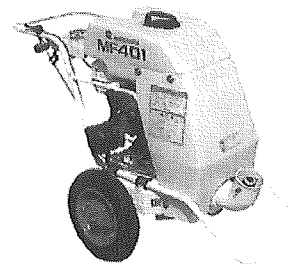
### 動力煙霧機

#### 丸山 MF-401

タンク容量20ℓ、エンジン ロビン3.7Kw 5PS 煙霧・ミスト兼用

煙霧吐出量400mℓ/分ミスト吐出量1.3401mℓ/分

メーカー希望小売価格540,000円



## (6) 散粉機

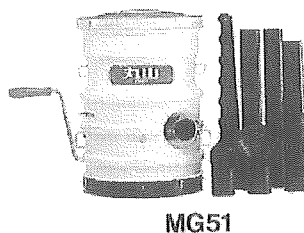
粉剤の処理に用いるもので、手動式、電動式、エンジン式がある。隙間や割れ目などの細かな部分には手動式が便利で、広範囲の処理には動力式がある。

人力散布機

丸山 MG51

タンク容量 4.6ℓ 吐出量 2,500g/分

メーカー希望小売価格 12,500 円



MG51

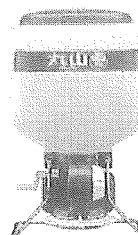
## (7) 散粒機

粒剤を散布する機器で人力式、電池式がある。

丸山 MG14M

タンク容量 11.5ℓ 吐出量 1,400g/分

連続使用時間 約6時間 標準小売価格 13,100 円



MG14M

## (8) 粘着式捕虫機

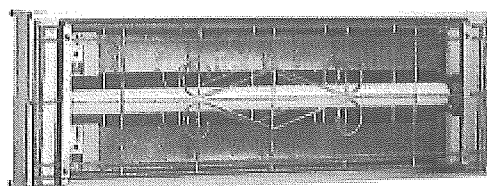
誘虫ランプのまわりに粘着物質を塗ったシートがセットされていて昆虫を捕獲することができる。死骸が周囲に落ちることがなく、食品工場等の施設内における調査用にも使える。

ムシボンMP-2000

寸法690×75×230mm質量2.4kg

誘引灯100V/20W 補虫紙S-20/5個入

メーカー希望小売価格29,800円



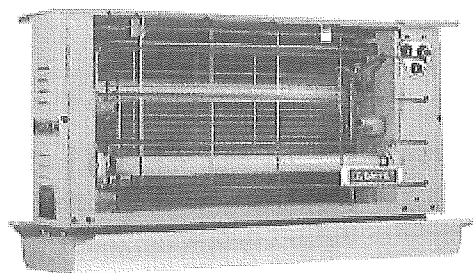
## (9) 電撃式殺虫機

ムシトールMT15-DX

誘引灯 (3,650A° のブラックランプ) と3,500Vの高圧で害虫駆除 安全網に手が触れると自動的に電撃電流が切れる。

寸法615×250×340mm質量7.4kg 誘引灯100V/15W×2灯

メーカー希望小売価格72,000円

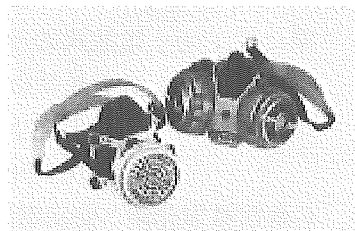


## (10) マスク

空間噴霧する場合や狭い場所で薬剤散布する場合、防毒マスクを着用する必要がある。活性炭つきのマスクが推奨できる。

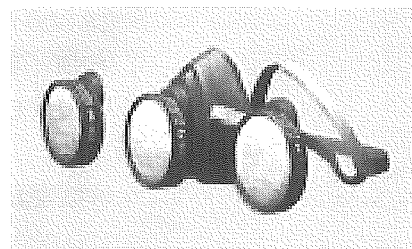
### 重松マスクGM-12K/GM-24K

有毒ガス用防毒マスク。GM-12Kは1缶式、24Kは2缶式でミストの高性能UIFフィルターを装備。接顔部は折り返し付2重構造。メーカー希望小売価格 GM-12K 1,990円、GM-24K 2,400円



### 3Mマスク No-3200

面体、吸収缶ともに全てプラスチック製で、作業者のニーズに応えた軽量・コンパクト・呼吸が楽な防毒マスク。面体接顔部には不快感を軽減するテクスチャード処理加工を施し、複雑な鼻の形状や微妙な顔のカーブにもピッタリとフィットするデザイン。メーカー希望小売価格 2,200円

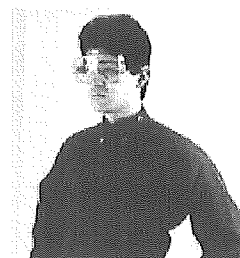


## (11) 保護メガネ

メガネは、刺激性のガスや蒸気、薬液の飛沫などから目を保護するために用いる。

### ゴグルス #3タイプ

80gと軽量なゴーグル、眼鏡の上からも装着できる。曇止め加工が施されているので、湿度の高い場所にも使用できる。メーカー希望小売価格 1,500円

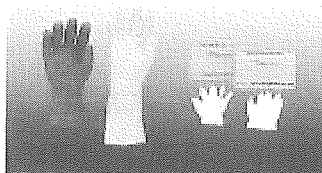


## (12) 手袋

薬剤取扱い時には耐有機溶媒性のゴム手袋を用いること。

### MAPA-491

メーカー希望小売価格 1,450円



## 資料 8

### 採集器具類の入手先および参考図書

#### (1) ライトトラップ

猪口鉄工所：電池式のライトトラップを製作してくれる。受注生産なので、値段は注文台数によって異なる（1台 15,000～20,000円）。

住所〒852-8001 長崎市光町5番4号

電話：095-862-2111、FAX：095-862-2092

石崎電機製作所：交流電源が必要なタイプのブラックライト使用のトラップで、本体がプラスチック製。ファンの下に捕集網があるタイプ。（Mc-8200 一台 約18,000円）

住所：東京都台東区元浅草1-15-15

電話：03-5828-6361

東京エーエス（株）：交流電源が必要なタイプのブラックライト使用のトラップで、本体は金属で出来ている。ファンの上に捕集籠があるタイプ。（一台 約120,000円）

住所：東京都荒川区東日暮里5-96-6

電話：03-3891-0376

John W. Hock Company：各種トラップを扱っている。ホームページでトラップの解説や値段など調べられる。

住所 P.O.Box 12852 Gainesville, FL. 32604, USA、Fax: (352)372-1838

E-mail: jwhock@acceleration.net、

ホームページ [www.acceleration.net/jwhock](http://www.acceleration.net/jwhock)

#### (2) 幼虫標本作成液や昆虫採集用具など特殊な道具類

志賀昆虫普及社（カタログがあるので請求するとよい）。

住所：〒150-0002 東京都渋谷区1丁目7番6号

電話：03-3409-6401、Fax：03-3409-6160

#### 参考図書

緒方・栗原・篠永・新庄・田中編集（2000）「住居環境の害虫獣対策」（財）日本環境衛生センター

佐々学・栗原毅・上村清（1976）「蚊の科学」北隆館

和田・篠永・田中（1990）「ハエ・蚊とその駆除」（財）日本環境衛生センター

Service, W. M. (1993) Mosquito Ecology: field sampling methods. 2<sup>nd</sup> ed. Elsevier Applied Science, London. （蚊の各種調査法について詳しい解説がある。）

## 資料 9

### 関連法人連絡先

(社) 日本ペストコントロール協会 (本部) :

〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町 3-3-4 神田東口共同ビル 4F ; Tel 03-5207-6321

支部法人名	Tel	支部法人名	Tel
(社) 日本ペストコントロール協会 北海道地区本部	011-854-5735	(社) 日本ペストコントロール協会 近畿地区本部	075-752-8071
北海道ペストコントロール協会	011-854-5735	滋賀県ペストコントロール協会	077-544-1922
(社) 日本ペストコントロール協会 東北地区本部	022-247-9918	京都府ペストコントロール協会	075-752-8071
青森県ペストコントロール協会	017-739-0451	(社) 大阪府ペストコントロール協会	06-6942-1891
岩手県ペストコントロール協会	0198-24-7206	(社) 兵庫県ペストコントロール協会	078-576-2633
宮城県ペストコントロール協会	022-273-1524	奈良県ペストコントロール協会	0742-23-7312
秋田県ペストコントロール協会	018-868-2511	和歌山県ペストコントロール協会	073-474-5517
山形県ペストコントロール協会	023-624-0366	(社) 日本ペストコントロール協会 中国地区本部	086-241-8080
福島県ペストコントロール協会	024-931-5122	鳥取県ペストコントロール協会	0859-45-1456
(社) 日本ペストコントロール協会 関東甲信越地区本部	03-3254-0014	島根県ペストコントロール協会	0852-22-8600
茨城県ペストコントロール協会	029-248-6421	岡山県ペストコントロール協会	086-293-5990
栃木県ペストコントロール協会	028-625-0606	広島県ペストコントロール協会	082-293-6116
群馬県ペストコントロール協会	0276-61-2301	山口県ペストコントロール協会	0832-67-2801
埼玉県ペストコントロール協会	048-854-2890	(社) 日本ペストコントロール協会 四国地区本部	0888-48-2391
千葉県ペストコントロール協会	043-221-7505	徳島県ペストコントロール協会	088-663-3088
(社) 東京都ペストコントロール協会	03-3254-0014	香川県ペストコントロール協会	087-822-0967
(社) 神奈川県ペストコントロール協会	045-681-8585	愛媛県ペストコントロール協会	089-913-1063
山梨県ペストコントロール協会	055-227-8816	高知県ペストコントロール協会	088-848-2391
長野県ペストコントロール協会	0263-28-1933	(社) 日本ペストコントロール協会 九州沖縄地区本部	092-608-7103
新潟県ペストコントロール協会	025-247-8591	福岡県ペストコントロール協会	092-608-7103
(社) 日本ペストコントロール協会 中部地区本部	052-452-7122	佐賀県ペストコントロール協会	0952-30-7383
富山県ペストコントロール協会	076-429-0303	長崎県ペストコントロール協会	095-844-3045
石川県ペストコントロール協会	076-242-1281	熊本県ペストコントロール協会	096-337-6803
福井県ペストコントロール協会	0776-23-3537	大分県ペストコントロール協会	097-534-4641
岐阜県ペストコントロール協会	058-274-3390	宮崎県ペストコントロール協会	0985-26-7881
静岡県ペストコントロール協会	054-283-2920	鹿児島県ペストコントロール協会	099-275-4120
(社) 愛知県ペストコントロール協会	052-452-7122	沖縄県ペストコントロール協会	098-868-8458
三重県ペストコントロール協会	0593-53-6506		

日本防疫殺虫剤協会 : 〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-2-1 共同ビル ; Tel 03-3281-4004

日本家庭用殺虫剤工業会 : 〒550-0003 大阪市西区京町堀 1-8-32 ; Tel 06-6443-6119

## 資料 10

### 感染症および媒介蚊に関する関連情報サイト

厚生労働省ホームページ	<a href="http://www.mhlw.go.jp/">http://www.mhlw.go.jp/</a>
国立感染症研究所 感染症情報センター	<a href="http://idsc.nih.go.jp/index-j.html">http://idsc.nih.go.jp/index-j.html</a>
国立感染症研究所 感染症発生動向調査	<a href="http://idsc.nih.go.jp/kanja/idwr/idwr-j.html">http://idsc.nih.go.jp/kanja/idwr/idwr-j.html</a>
米国疾病対策センター	<a href="http://www.cdc.gov/">http://www.cdc.gov/</a>
日本衛生動物学会	<a href="http://www.mez.med.uoeh-u.ac.jp/~mez/">http://www.mez.med.uoeh-u.ac.jp/~mez/</a>
(財) 日本環境衛生センター	<a href="http://www.jesc.or.jp/">http://www.jesc.or.jp/</a>
(社) 日本ペストコントロール協会	<a href="http://www.pestcontrol.or.jp/">http://www.pestcontrol.or.jp/</a>

## 研究協力者

安居院 宣昭 (国立感染症研究所客員研究員)  
葛西 真治 (国立感染症研究所昆虫医科学部研究員)  
栗原 毅 (帝京大学医学部名誉教授)  
水谷 澄 (日本環境衛生センター客員研究員)  
元木 貢 (日本ペストコントロール協会技術委員長)  
緒方 一喜 (日本環境衛生センター技術顧問)  
沢辺 京子 (国立感染症研究所昆虫医科学部第二室長)  
新庄 五朗 (日本環境衛生センター環境生物部長)  
富田 隆史 (国立感染症研究所昆虫医科学部第三室長)  
津田 良夫 (国立感染症研究所昆虫医科学部第一室長)

平成15年4月1日 発行

分担研究者 小林 陸生\*

主任研究者 倉根 一郎\*\*

国立感染症研究所

昆虫医科学部\* ウイルス第1部\*\*

東京都新宿区戸山1-23-1

本調査研究は2003年新興・再興感染症研究事業「節足動物媒介性ウイルスに対する診断法の確立、疫学およびワクチン開発に関する研究(主任研究者 倉根一郎)」によって行われた。